

教員会議(1707回)・研究科委員会(499回)議事要録

日 時：平成29年10月11日(水) 14時35分～15時00分
15時20分～16時10分

場 所：人間発達文化学類大会議室

議事に先立ち、学類長から学類のFD活動として今回の教員会議から、教員の情報共有の観点から、審議事項と報告事項の間に試行として「学類のFD活動」を実施するとの説明があった。

【確認事項】教員会議(第1705回)・研究科委員会(第497回)、教員会議(第1706回)・研究科委員会(第498回)の議事要録(案)について、確認された。

教員会議

【審議事項】

1. 人事委員会：

(1) 教員の公募について(資)

学類長から、公募に至る経緯について説明があり、今回の公募については、教科と公募の関係等を明確にするため所属専攻等に学類を加えクラスまで表記し、大学院と併記することを承認願いたい。今後の公募については、あらためて検討したいとの説明提案があり、承認された。

次いで、白石教員から資料に基づき説明があり、応募資格年齢を38歳以下にしたことについて、9月末公募の予定が遅れたため公募期間が短くなったこと、課程認定のため欠員とすることが出来ないため、出来るだけ応募者を増やしたいためとの説明提案があり、『応募資格(3)』の「幼児教育学」を「幼児教育学(保育学)」とすることで承認された。

(2) 今後の人事計画について

学類長から、教育研究院会議で承認された来年度の具体的内容について、幼児教育学の専任の採用、昇任人事の教授枠2名、特任教員の新規・継続を合わせた20名、うち新規は2名(住居学1名、数学科教育1名)、教職大学院9名が認められたとの説明があった。

今後については、教育研究院会議で、専任の採用では再調査を求められたこと、特任の同一候補の継続理由の説明を求められるなど厳しい状況にあること。また、ポイント管理を厳密にと繰り返し強調されていること。来年度以降の人事計画では、試算の段階ではあるが割当ポイントのオーバーは、32年度末までは移行期などであることを伝えているが、33年度に割当ポイントに収まる計画を立てるよう説明があったこと。学類の中期的な人事計画では、将来計画検討委員会で改組の中での後任補充や昇任等について一定の見通しを立ててもらっているが、教育研究院会議の一連の議論を受けると、今後、やむを得ない場合は、現在想定している後任補充の見直し、特任教員の任用期間、採用枠、年齢の見直しがないとはいえないとの説明があった。

(3) 平成30年度特任教員について(資)

学類長から、標記について資料の上記4名の契約期間の終了期間をH31.3.31からH32.3.31に修正し、表の上段については枠として確認する。表の下段の方は、継続として確認している。今後、表上の段のところは、担当者を確認のうえ具体的に提案したいとの説明提案があり承認された。

2. 教務委：平成29年度非常勤講師計画の変更について(資)

佐久間委員長から、標記について資料に基づき新規の教員について説明提案があり、承認された。

3. 将来計画検討委：教員免許状検討WGの設置について(資) 井實

井實委員長から、7月13日開催の教員会議で了承されたワーキングの設置について、別

紙資料に基づき、メンバー及び課題について説明提案があり承認された。

【報告事項】

- 1 - 1 . 教育研究評議会：第 289 回(9/19)
(審議事項)
(1) 当面の入試改革方針について (戻り報告)(資 - 掲)
(報告事項)
(1) 福島大学と放送大学との間における単位互換に関する覚書 (案) について (資 - 掲)
- 1 - 2 . 教育研究評議会：第 290 回(10/3)
(報告事項)
(1) 教育研究費の使用に関するコンプライアンス教育等実施計画について (資 - 掲)
(2) 平成 30 年度試行調査 (プレテスト) < 仮称 > の基本的事項の通知文書及び学内実施体制について (資 - 掲)
- 2 - 1 . 運営会議：第 96 回(9/26)
(1) 学部等定員超過及び未充足に伴う取扱いについて (資 - 掲)
(2) 農学支援基金寄附状況の中間報告について
(3) 県外進路担当者との懇談会について (資 - 掲)
(4) 秋のオープンキャンパスについて (資 - 掲)
- 3 . 教務委：学生の休退学について
佐久間委員長から、休学者 3 名、退学者 2 名について報告があり、了承された。
- 4 . 共通教育委：平成 29 年度共通領域科目非常勤講師計画について (資) 水澤水澤委員から、標記について資料に基づき説明報告があり、了承された。
- 5 . 国際交流センター運営会議：平成 30 年 1 ~ 3 月派遣交換留学学生の決定について (資) 高橋 (優) 委員から、標記について資料に基づき説明報告があり、了承された。
- 6 . 将来計画検討委：学類改革の基本方針について (資)
井實委員長から、別紙資料に基づき説明があり、地域枠入試について他大学の状況等について補足説明があった。その後、現行の推薦入試 と地域枠入試は重複しないか、また資料「 3 . 」の専門科目ノルマ外は負担増になるのではないかととの質問があり、井實委員長から、地域枠入試は推薦入試の枠内であるので調整・検討したい、専門科目ノルマ外の取扱いについては、均等な授業負担としたいとの回答があり、了承された。
- 7 . 学類長：
(1) 平成 30 年度研究専念期間適用希望者について
学類長から、以下について学類人事委員会で承認したとの報告があり、了承された。
小島 彰 期間：平成 30 年 4 月 1 日 ~ 平成 31 年 3 月 31 日
主たる研修場所：福島大学
- (2) 受託事業の受入について
学類長から、以下について受託研究審査委員会で承認したとの報告があり、了承された。
担当教員：半沢 康
相手先：文化庁
事業名：平成 29 年度被災地における方言の活性化支援事業
事業期間：平成 29 年 9 月 28 日 ~ 平成 30 年 3 月 30 日
事業費：866,522 円

研究科委員会

【報告事項】

- 1 . 教務委：学生の休退学について 佐久間
佐久間委員長から、休学者 1 名について報告があり、了承された。
- 2 . 教育課程委：院新生アンケート調査の結果について (資)
川田委員長から、標記について資料に基づき説明報告があり、了承された。

(アナウンス)

平成 30 年度クラスアドバイザーの選出依頼について(学生生活委)

標記について、今月末までに変更を含め選出願いたいとのアナウンスがあった。

教育課程再課程認定について(教育課程委)

標記について、文科省からの提示が遅れているため、本学の作業も遅れているとのアナウンスがあった。また、来年のシラバスについて、常勤・非常勤を含め後任が決まっていない場合は、基本的に今年度在籍している教員名で作成願いたい。また、今後、個別に対応したいとのアナウンスがあった。

次回の教員会議は 10 月 25 日(水) 13:30 から開催することとした。